

令和4年度 第2学年  
ふるさと共生コース

# 学習のてびき

奈良県立十津川高等学校

組	番	氏名
---	---	----

## 令和4年度 第2学年(ふるさと共生)開講科目

- ① … 現代文B
- ② … 古典B
- ③ … 世界史A
- ④ … 地学基礎
- ⑤ … 体育
- ⑥ … 保健
- ⑦ … コミュニケーション英語Ⅱ
- ⑧ … ふるさと学
- ⑨ … 国語表現
- ⑩ … 数学A
- ⑪ … 数学Ⅱ
- ⑫ … 英語表現Ⅱ
- ⑬ … 日本史B
- ⑭ … 生物
- ⑮ … 実用数学
- ⑯ … ビジネス基礎
- ⑰ … 簿記
- ⑱ … ボランティア

【国語科】 <b>現代文B</b>	教科書	新精選 現代文B (明治書院)			
	副教材	巻頭増補版常用国語便覧 (浜島書店) 随時プリント配布			
履修学年	第2学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

**学習(到達)目標** (授業を通して、身に付ける力)

- ◇様々な文章に触れて読解力を磨くとともに、文学に親しむ態度を身に付ける。
- ◇自分の考えをまとめ、表現する力を身に付ける。

**学習方法** (授業の進め方や工夫点など)

- ◇授業では評論文、随想、小説など多様な種類の「文章」を読んでいます。それを活かし、普段の生活の中から新聞や本、インターネットなどを利用して、「文章」に触れる機会を自ら作りましょう。
- ◇さまざまな文章を読む中で、自分の意見を持ち、積極的に発言してください。また他人の意見をしっかりと聞き、自分の考えと比較し理解を深めてください。

**学習計画** (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	随想	『本を積んだ小舟』	・本文の語句について、漢字と意味を理解する。 ・随想における筆者の思いを読み取る。	取り組む姿勢、課題等 話し合い <b>中間考査</b>	ACDE BC CDE
	小説(1)	『山月記』	・格調高い漢文調の文体に触れ、主人公の語りから心情を読み取る。 ・感想や考えたことを文章にまとめる。	取り組む姿勢、課題等 作文、話し合い <b>期末考査</b>	ACDE BC CDE
二学期	評論(2)	『ものとこと』	・ものとことの関係性についての筆者の考えを読み取り、言葉について自分の考えを深める。	取り組む姿勢、課題等 話し合い	ACDE B
	小説(2)	『バブーシュカ』	・物語の展開から、登場人物の真意を探る。	取り組む姿勢、課題等 <b>中間考査</b>	ACDE CDE
	表現の実践	スピーチ	・テーマに沿って自分の考えをまとめ、スピーチを行う。	取り組む姿勢 スピーチ	A B
	評論(3)	『いのちのかたち』	・体と命についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。	取り組む姿勢、課題等 <b>期末考査</b>	ACDE CDE
三学期	小説(3)	『こころ』	・作品を通じて人間の心や孤独について深く考え、作品のテーマについて意見文を書く。	取り組む姿勢、課題等 作文、話し合い <b>学年末考査</b>	ACDE BC CDE

**学習評価** (成績評価は、次の5つの観点から行います) 考査点 [70] 点 : 平常点 [30] 点

	関心・意欲・態度(A)10点	話す・聞く能力(B)10点	書く能力(C)20点	読む能力(D)30点	知識・理解(E)30点
評価の観点	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などを理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・課題の取組状況	・スピーチ ・朗読、話し合い	・作文 ・課題 ・定期考査	・課題 ・定期考査	・課題 ・小テスト ・定期考査

**留意点** (担当者からのメッセージ)

- ◇「読む・書く・聞く」ことをしっかりと意識して授業に臨んでください。
- ◇自分の読み、考えを大切にしてください。一緒に授業を作りましょう。

【国語科】  <b>古典B</b>	教科書	新編 古典B 言葉の世界へ（教育出版）			
	副教材	巻頭増補版常用国語便覧（浜島書店） 随時プリント配付			
履修学年	第2学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

**学習（到達）目標**（授業を通して、身に付ける力）

◇古典を読む能力を養う。◇古典についての理解や関心を深める。  
◇ものの見方、感じ方、考え方を広げる。

**学習方法**（授業の進め方や工夫点など）

◇習熟度別で授業を行います。  
◇古典教材を踏まえて、自分自身が感じたり考えたりしたことを述べる機会が多くあります。積極的に言語による表現活動を行ってください。  
◇古語は現在も生きていることを日常生活から見だし、授業で展開していこうと考えます。

**学習計画**（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	不思議な話 機知と笑い	養老の滝 買履忘度	・話の流れをつかむ。 ・話の面白さを理解する。	取り組む姿勢 プリント <b>中間考査</b>	A BC BC
	項羽と劉邦 人を思う時	四面楚歌 初冠	・現代に生きる故事成語を学ぶ。 ・和歌を読み味わう。	取り組む姿勢 プリント <b>期末考査</b>	A BC BC
二学期	日々の記憶 詩を味わう	門出 鹿柴・涼州詞・ 望廬山瀑布	・作者の人物像を考察する。 ・漢詩の句法を理解し、読み味わう。	取り組む姿勢 プリント <b>中間考査</b>	A BC BC
	和歌と俳諧 文を味わう	万葉の歌 王朝の歌 漁父辞	・和歌の技法を理解し、読み味わう。 ・生き方の違いをまとめる。	取り組む姿勢 プリント <b>期末考査</b>	A BC BC
三学期	戦いをめぐる人間像	先帝入水	・武士にとっての戦場とは何かを学ぶ。	取り組む姿勢 プリント	A BC
	さまざまな思想	不仁人之心	・人間性の捉え方の違いについて学ぶ。	<b>学年末考査</b>	BC

**学習評価**（成績評価は、次の3つの観点から行います） 考査点 [70] 点:平常点 [30] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 20点	読む能力 (B) 40点	知識・理解 (C) 40点
		古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め発展させている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・課題の取組状況	・プリント ・定期考査	・小テスト ・プリント ・定期考査

**留意点**（担当者からのメッセージ）

◇授業をきっかけにして、伝統的な言語文化に興味をもって生活することを心がけてください。  
◇教材をもとに、自分のものの見方や考え方を、広げたり深めたりしてください。

【地理歴史科】 <b>世界史 A</b>	教科書	世界の歴史 改訂版（山川出版社）			
	副教材	プロムナード世界史（浜島書店）			
履修学年	第2学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

**学習（到達）目標**（授業を通して、身に付ける力）

- ◇前近代史を含めた歴史的なエピソードを幅広く学ぶことで、歴史に対する関心を高める。
- ◇近現代史を中心とする世界の歴史の学習を通して、平和な国際社会を築くために必要なことを考える。

**学習方法**（授業の進め方や工夫点など）

- ◇整理プリントを用い、教科書に沿って授業を進めます。ただし、世界史になじみがない人も多いと思いますので、歴史的なエピソードを紹介しながら、少しでも興味をもてるように授業を展開します。
- ◇副教材には写真や絵、地図などの資料が豊富に掲載されているので、教科書だけでなく、副教材も活用してそれぞれの地域や時代の特性をつかめるようにします。

**学習計画**（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	前近代の世界	世界の諸文明	・アジアおよびヨーロッパの諸文明を、それぞれの地域に根付いた宗教と関連させながら理解を深める。	白地図作業 <b>中間考査</b>	AC BD
		世界の一体化の始まり	・明・清を中心とする東アジアの国際秩序と安定期に入ったイスラーム国家の様子を学ぶ。 ・16世紀の世界の反映を大航海時代、ルネサンス、宗教改革などの出来事を中心に考察する。	授業態度 ファイル提出 <b>期末考査</b>	A AC BD
二学期	近代の世界	近代の世界	・欧米で展開された市民革命が世界の民主主義思想に与えた影響を考察する。	<b>中間考査</b> 授業態度	BD A
		帝国主義の時代	・欧米の帝国主義諸国が世界を分割した背景とその影響を考察する。	授業態度 ファイル提出	A AC
		二つの世界大戦	・二つの世界大戦が勃発した経緯とその意義を考察する。	<b>期末考査</b>	BD
三学期	現代の世界	平和と冷戦	・東西冷戦下の国際関係を学習する。	授業態度 ファイル提出 <b>学年末考査</b>	A AC BD

**学習評価**（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [70] 点：平常点 [30] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 15点	思考・判断・表現 (B) 30点	資料活用の技能 (C) 15点	知識・理解 (D) 40点
	評価の観点	歴史的・地理的事象に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとしている。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・課題の取組状況 ・整理プリントの記入内容 ・ファイルの整理	・定期考査における記述解答	・副教材の活用状況 ・レポートや報告書の作成 ・ワークシートへの記述	・定期考査

**留意点**（担当者からのメッセージ）

- ◇歴史は覚えることがたくさんあります。ただし、重要なのは暗記をすることではなく、歴史から生き方を学ぶ事です。「過ちを繰り返さず、参考となる生き方を見つける。」前向きな学習にしましょう。

<b>【理科】</b>  <b>地学基礎</b>	教科書	高等学校改訂地学基礎（第一学習社）			
	副教材	改訂ネオパルノート地学基礎（第一学習社） ニューステージ新地学図表（浜島書店）			
履修学年	第2学年	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

**学習（到達）目標**（授業を通して、身に付ける力）

- ◇宇宙の誕生から現在に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえる。
- ◇地球や地球を取り巻く環境に対し目的意識をもって観察・実験を行い、地学的に探究する能力を養う。

**学習方法**（授業の進め方や工夫点など）

- ◇教科書、視聴覚教材を活用して授業を進めます。
- ◇可能な分野では観察・実験を行います。終了後に実験レポートを提出します。

**学習計画**（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	1章 宇宙における地球	(1) 宇宙の構成 (2) 太陽 (3) 太陽系の中の地球	・宇宙の成り立ちと現在までの移り変わりを理解する。 ・太陽系の構造を理解する。 ・地球誕生当初の様子について理解する。	授業態度 ノート 課題・実習 小テスト <b>中間考査</b>	A A BC D BCD
	2章 活動する地球	(1) 地球の姿 (2) 火山活動と地震	・プレート運動に伴う地形の形成と地震の発生について理解する。 ・火山活動と造山運動について理解する。	授業態度 ノート 課題・実習 小テスト <b>期末考査</b>	A A BC D BCD
二学期	3章 移り変わる地球	(1) 地層や岩石と地質構造 (2) 地球環境と生物界の変遷	・地質時代と生物の変遷との関係を把握する。 ・様々な地層と堆積物について理解する。	授業態度 ノート 課題・実習 小テスト <b>中間考査</b>	A A BC D BCD
	4章 大気と海洋	(1) 地球の熱収支 (2) 大気と海洋の運動	・大気の大循環を気象的側面から理解する。	授業態度 ノート 課題・実習 小テスト <b>期末考査</b>	A A BC D BCD
三学期	5章 地球の環境	(1) 地球環境の科学 (2) 日本の自然環境	・身近な例から地球環境の変動について考察する。	授業態度 ノート 課題・実習 小テスト <b>学年末考査</b>	A A BC D BCD

**学習評価**（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [60] 点：平常点 [40] 点

	関心・意欲・態度 (A) 20点	思考・判断・表現 (B) 25点	観察・実験の技能 (C) 20点	知識・理解 (D) 35点
<b>評価の観点</b>	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中で捉えるなど、科学的な見方や考え方を身に付けようとしている。	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現しようとしている。	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けようとしている。	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けようとしている。
<b>評価方法</b>	・授業の取り組み状況 ・ノート記述	・実習レポートや課題の記述内容 ・定期考査	・実習レポートや課題の記述内容 ・実験や実習の取り組み状況 ・定期考査	・小テスト ・定期考査

**留意点**（担当者からのメッセージ）

- ◇小テスト範囲を前もって学習し、日頃から勉強に取り組みましょう。

【保健体育科】  <b>体育</b>	教科書	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）			
	副教材	使用しません（随時プリントを配布）			
履修学年	第2学年	履修形態	<b>必修</b> 選択	履修単位	3単位

**学習（到達）目標**（授業を通して、身に付ける力）

- ◇運動の合理的、計画的な実践を通して知識を深めるとともに技能を高める。
- ◇自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高める。

**学習方法**（授業の進め方や工夫点など）

- ◇自己の興味、関心のある競技を選択し、知識を深め、高い技能を身に付ける。
- ◇基本的には男女共習で行う。

**学習計画**（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	・体づくり運動 ・球技 ・武道 ・体育理論	・体力を高める運動 ・体ほぐしの運動 ・ネット型, ゴール型, ベースボール型	・体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体づくり運動の行い方を身に付け体力向上に取り組む。 ・能率的な集団行動をできるようにする。	課題プリント 実技テスト 授業観察 出席状況 等	AD C ABCD A
		・剣道	・自己の技能・体力の程度に応じて最も打突しやすい得意技を見つけ、得意技を用いた攻防が展開できるようにする。		
二学期	・体づくり運動 ・陸上競技 ・球技 ・武道 ・体育理論	・体力を高める運動 ・体ほぐしの運動 ・跳躍、投てき、短距離走 ・ネット型, ゴール型, ベースボール型	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、フェアなプレイをしようとする態度を養い、体力、運動の技能を高める。 ・練習や作戦について話し合う活動を通してコミュニケーション能力を育成する。	課題プリント 実技テスト 授業観察 出席状況 等	AD C ABCD A
		・剣道	・得意技を用いた攻防が展開できるようにし、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わう。 ・簡易な試合の際に競技のルールや審判など必要な役割に応じた行動の仕方を学び、実践する。		
三学期	・体づくり運動 ・陸上競技 ・武道	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 ・長距離走	・ペースの変化に対応した走りをするができるようになる。自己の記録に挑戦し、記録を向上させることができるようにする。	実技テスト 授業観察 出席状況 等	C ABCD A
		・剣道	・相手を尊重し、礼法や形といった伝統的な立ち居振る舞いを理解する。		

**学習評価**（成績評価は、次の4つの観点から行います）

	関心・意欲・態度 (A) 20点	思考・判断 (B) 15点	運動の技能 (C) 50点	知識・理解 (D) 15点
評価の観点	授業に積極的、主体的に取り組む、仲間と協力し、自己の責任を果たそうとする。 勝敗を冷静に受け止め、ルールやマナー、チームワークを大切にしようとしている。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出している。 自己や相手の健康や安全に留意した練習や攻防ができています。	作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できている。 剣道では状況に応じ基本的な動きができるようになり、崩し、しかけ、応じができ、礼法を習得している。	技術や技の名称や行い方を理解できている。 ゲームのルールや試合方法、審判の方法を理解している。 各運動に関連した体力の高め方を理解している。
評価方法	・観察評価（授業中の態度・行動、積極性、出席・見学回数、忘れ物を含む） ・課題プリント	・観察評価 ・学習シート	・実技テスト ・観察評価	・対話 ・観察評価 ・学習シート、課題プリント

**留意点**（担当者からのメッセージ）

- ◇授業開始のチャイムが鳴るまでに更衣を済ませ、集合してください。
- ◇見学等の連絡がある者は事前に担当の先生に相談し、指示を受けてください。

【保健体育科】 <b>保健</b>	教科書	現代高等保健体育（大修館書店）			
	副教材	適宜プリントを配布			
履修学年	第2学年	履修形態	必修・選択	履修単位	1単位

**学習（到達）目標**（授業を通して、身に付ける力）

◇個人生活及び社会生活における健康・安全に関する理解を通して、健康についての総合的な認識を深め、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、生涯を通じて自己の健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てます。

**学習方法**（授業の進め方や工夫点など）

◇「健康」に関わる問題を、様々な角度から捉えつつ、教科書に沿って授業を行います。

**学習計画**（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価計画	観点
一学期	(2)生涯を通じる健康	・生涯の各段階における健康  ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関	・思春期における体の発達や行動面、精神面の特徴を理解し、異性を尊重する態度を身に付け、性に関する的確な意志決定ができるようにする。 ・受精・妊娠・出産の過程を理解し、家族計画の意義や避妊方法、人工妊娠中絶についての知識を身に付け、実生活に活かすことができるようにする。 ・生涯を通じて健康を保持増進するため、保健・医療制度のしくみや活用の仕方を学ぶ。	課題提出 出席状況等 期末考査	ABC ABC BC
二学期	(2)生涯を通じる健康  (3)社会生活と健康	・様々な保健活動や対策  ・環境と健康  ・環境と食品の健康	・我が国や世界で健康課題に対応して行われている様々な保健活動や対策などを学ぶ。 ・大気・水・土壌などの環境を、主体的に守る取り組みを考える。 ・環境や食品に関わってどのような保健活動が行われているのか、私たちはどのような役割を果たすべきかを考える。	課題提出 出席状況等 期末考査	ABC ABC BC
三学期	(3)社会生活と健康	・環境と食品の健康  ・労働と健康	・環境や食品に関わってどのような保健活動が行われているのか、私たちはどのような役割を果たすべきかを考える。 ・現代における職業病や労働災害について理解し、職場での総合的な安全管理や人々との積極的な健康作りの方法について学ぶ。	課題提出 出席状況等 学年末考査	ABC ABC BC

**学習評価**（成績評価は、次の3つの観点から行います） 考査点 [50] 点：平常点 [50] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 20 点	思考・判断 (B) 30 点	知識・理解 (C) 50 点
評価の方法	健康の重要性を理解しようとし、資料を調べたり、見たり読んだりするなどの学習活動に積極的に取り組もうとしている。	健康に関するさまざまな問題や課題を見だし、整理したりするなどして、それらを説明している。	健康についての総合的かつ基礎的な知識の理解を深めている。
評価の方法	・授業に取り組む姿勢 ・授業プリントの記入内容 ・提出物の整理	・授業中の質疑応答 ・授業プリントの記入内容 ・考査における記述解答	・考査 ・授業プリントの記入内容

**留意点**（担当者からのメッセージ）

◇授業開始のチャイムが鳴るまでに、教科書・ファイル・筆記用具の準備をし、着席してください。  
◇人生を幸せに、そして健康に過ごすために学習を進めていきます。実生活と関連づけながら授業に取り組んでください。

【外国語科】	教科書	VISTA English Communication II NEW EDITION (三省堂)			
コミュニケーション英語Ⅱ	副教材	使用しません(授業プリントなどを適宜利用)			
履修学年	第2学年	履修形態	必修 選択	履修単位	3単位

### 学習(到達)目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇日常的な話題について、英語で聞いたり話したりできるようになる。
- ◇情報や考えなどを英語で伝える能力を養い、積極的にコミュニケーションを図ることができるようになる。

### 学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇クラス分けテストの結果により、「A,B,C」の習熟度別で授業を行います。共通の教科書は使用しますが、それぞれの到達度により授業の内容も異なり、あらゆる進路に対応した授業を行います。
- ◇教科書以外にも授業プリントなどを適宜利用することにより、予習・復習がスムーズにできるように進めます。課題の提出は必須です。
- ◇英語による指示や質問を聞き、英語で応答できるように工夫します。

### 学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	Lesson 1 Lesson 2	Birthdays, Here and There The Emerald Isle	・疑問詞や if で始まる節や比較表現を理解する。また、それらを含む英語で自身の考えを表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 <b>中間考査</b>	A ABC AD D
	Lesson 3 Lesson 4	The Sagrada Familia Nobel Prize Episodes	・名詞を修飾する分詞や知覚動詞の表現を理解し、それらを含む英語で自身の考えを表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 <b>期末考査</b>	A ABC AD D
	Lesson 5 Lesson 6	Flowers in the Tomb Becoming the Best	・使役代名詞、関係代名詞 what、how to～、It seems that～の表現を理解し、それらを含む英語で自身の考えを表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 <b>中間考査</b>	A ABC AD D
	Lesson 7 Lesson 8	The Galapagos Islands Shodo, Old and New	・現在完了進行形、形式目的語 It、部分否定、can be done の表現を理解し、それらを含む英語で自身の考えを表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 <b>期末考査</b>	A ABC AD D
三学期	Lesson 9 Lesson 10	Water World A Long Friendship	・関係代名詞の非制限用法、have been done、過去完了形、強調構文の表現を理解し、それらを含む英語で自身の考えを表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 <b>学年末考査</b>	A ABC AD D

### 学習評価 (成績評価は、次の4つの観点から行います) 考査点 [60] 点 : 平常点 [40] 点

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (A) 20点	外国語表現の能力 (B) 5点	外国語理解の能力 (C) 5点	言語や文化についての知識・理解 (D) 70点
評価の方法	・積極的に授業に取り組み、失敗を恐れずに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢がある。授業中に与えられた課題や小テストに前向きに取り組もうとしている。	・日常生活や自分の考えを、英語で書いたり、話したりできる。ALT とのチームティーチングにおいて、自分の考えなどを英語で書き、話している。	・英語を聞いたり、英語で書かれたりしたものを読んで理解できる。ALT とのチームティーチングにおいて、意欲的に理解している。	・提出課題 ・定期考査

### 留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇毎日の予習・復習を必ず行ってください。英語は学習の積み重ねが大切です。
- ◇ALT の先生も一緒にチームティーチングをしていただきます。積極的に参加してください。

【地域】  ふるさと学	教科書	歴史から学ぶ 奈良の災害史（奈良県総務部知事公室 防災統括室）			
	副教材	使用しません			
履修学年	第2学年（ふる）	履修形態	必修 選択	履修単位	2単位

**学習（到達）目標**（授業を通して、身に付ける力）

- ◇テーマについて他者と意見交換をしながら関心をもち、主体的に調査・検討できる力を身に付ける。
- ◇情報検索・ディスカッション・プレゼンテーションなど、必要なスキルを使い問題解決する力を身に付ける。
- ◇地域の課題や災害・防災について理解するために必要な知識・技能を身に付ける。

**学習方法**（授業の進め方や工夫点など）

- ◇防災編・地域編の2つのテーマで学習します。講義形式だけでなく、ディスカッション、インタビュー、体験学習などを通して課題探究します。

**学習計画**（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	防災編	(1) 自然災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然災害や十津川村の災害の歴史について講義、調べ学習、発表、実地研修を通じて理解を深める。</li> <li>・ ハザードマップを利用し、地域の現状について調査、まとめを行う。</li> <li>・ 避難所の歴史や比較を通じて避難所生活環境を理解する。</li> <li>・ 専門機関を招き、被災者支援に関する実践的な講義・実習を受講する。</li> <li>・ 防災編の学習内容の発表準備を行う。</li> </ul>	授業態度 ディスカッション レポート提出 学習シート	A
		(2) 避難所運営、炊き出し体験			BC
		(3) 被災地実地研修			BC
		(4) 救護・応急処置に関する実習			
		(5) 個別テーマ学習			
二学期	防災編	(5) 個別テーマ学習（続き）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の小中学生に向けた防災に関する出前授業を行う。</li> </ul>	授業態度 ディスカッション レポート提出 学習シート	A
		(6) 防災出前授業			A
	地域編	(1) 地域おこし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレゼンの手法について学び、自分たちの調べた情報を分かりやすく発表できるようにする。</li> <li>・ 地域おこしや地域の文化について現状と課題を調査する。</li> </ul>		BC
		(2) 村内施設見学 (3) 十津川村地域おこし			BC
三学期	地域編	(4) 個別テーマ学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年間で学んだ内容から、班ごとにテーマを設定し、課題解決の方法を考案する。</li> <li>・ 班の意見を効果的に発信できる資料を作成し、最後に成果発表を行う。</li> </ul>	授業態度 ディスカッション レポート提出 学習シート	A
		(5) 成果発表			A
					BC

**学習評価**（成績評価は、次の3つの観点から行います）

評価の観点	主体性・協働性・多様性 (A)	思考力・判断力・表現力 (B)	知識・理解 (C)
評価方法	主体的・協働的に取り組み、自分の意見を伝えながら話し合いを通じて、新しい考え方を創造しようとしている。 ・ 授業態度 ・ ディスカッション	学習内容の中に問いや課題を見出し、必要な情報を集めて、整理・分析をして発表やまとめることができる。 ・ レポート提出 ・ 学習シート	課題解決に必要な知識・技能を身に付け、学習に取り組むことができている。また、学習内容の意義や価値を理解している。 ・ レポート提出 ・ 学習シート

**留意点**（担当者からのメッセージ）

- ◇ディスカッションやプレゼンテーションに取り組む姿勢も評価します。
- ◇考査は実施しません。授業で取り組む学習シートやレポートなどで評価します。

【国語科】  <b>国語表現</b>	教科書	国語表現 改訂版（教育出版）			
	副教材	プリント教材・新聞など			
履修学年	第2学年	履修形態	必修 <b>選択</b>	履修単位	2単位

**学習（到達）目標**（授業を通して、身に付ける力）

- ◇現代文および古典の内容を基に発展的に学習し、国語全般の知識・理解の定着を図る。
- ◇さまざまな文章を読み、自分の考えをまとめ、的確に表現する力を身に付ける。

**学習方法**（授業の進め方や工夫点など）

- ◇授業で読むさまざまな文章の中から、自らの意見をもって積極的に発言し、文章に書いて表現してください。
- ◇スピーチやプレゼンテーション、創作活動も行います。積極的に取り組みましょう。

**学習計画**（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	本のポップ作り 文章表現の基礎 人とつながる言葉	・抽象的な語の定義を把握し、文章を書く際の表現技法を学ぶ。	・高校生としてふさわしい語彙や表現で文章を書く。	取り組む姿勢 作文 作品	A CD CD
	小論文 I	・具体的な語の定義を把握し、小論文を作成するための知識を得る。	・小論文における決まりを理解する。 ・文章の構成を考えて小論文を作成する。	取り組む姿勢 小論文 課題レポート	A CD CD
二学期	声の表現 プレゼンテーションの方法	・自分の考えを的確に伝え、相手の話を正しく聞き取るための表現技法を学ぶ。	・自分の意見を、聴衆に向けて正しい表現で発表する。 ・自分のコンセプトを伝えることのできるプレゼンテーションを行う。	取り組む姿勢 発表 プレゼンシート	A B B
	言葉を届ける エッセイを書く	・場に応じた、適切な言葉の使い方を学ぶ。	・敬語の適切な使い方や、手紙やメールでの文章の書き方を理解し、実際に書く。 ・自分の考えをエッセイに書く。	作文など 課題レポート	CD CD
三学期	物語を作る	・さまざまな文章を読み、語彙を豊かにする。	・物語の魅力や伝える方法を考えて、絵本の読み聞かせをする。 ・物語を深読みし、二次創作をする。	取り組む姿勢 発表 プレゼンシート	A B B
	メディア・リテラシー	・文章から、内容や情報を得る方法を学ぶ。	・新聞の読み比べを行い、「違い」の読み取りを行う。 ・客観的な視点を踏まえて、自らの意見を文章にまとめる。	作文など 課題レポート	CD CD

**学習評価**（成績評価は、次の4つの観点から行います）課題点 [30] 点：平常点 [70] 点

	関心・意欲・態度 (A) 20点	話す・聞く能力 (B) 20点	書く能力 (C) 40点	知識・理解 (D) 20点
評価の観点	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて、効果的に話を的確に聞きとったり、テーマについて話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢	・授業での発言、発表 ・プレゼンテーションシート	・プリント ・課題作品、レポート ・プレゼンテーションシート	・課題プリント ・課題作品、レポート

**留意点**（担当者からのメッセージ）

- ◇様々な文章に触れたり、自らの考えを文章にしたりすることで、考える力を身に付けてください。
- ◇自分の読みや考えを大切にしてください。一緒に授業を作りましょう。

【数学科】  <b>数学 A</b>	教科書	改訂版 最新 数学 A (数研出版)			
	副教材	改訂版書き込み式シリーズ【標準】教科書傍用 Study-Up ノート 数学 A (数研出版)			
履修学年	第 2 学年	履修形態	必修・ <b>選択</b>	履修単位	2 単位

**学習（到達）目標**（授業を通して、身に付ける力）

- ◇場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について、基礎的な知識を深め、その技能を習得する。
- ◇知識・技能を活用する能力を身に付けるとともに、数学の良さがわかる。

**学習方法**（授業の進め方や工夫点など）

- ◇教科書・授業プリント・演習ノートを計画的に利用することにより、予習・復習を網羅していきます。ただし数学的な知識や技能の定着のためには、繰り返し行うことが更に必要です。

**学習計画**（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	場合の数と確率	場合の数	・具体例を通して試行と事象の意味を理解し、場合の数の解法を身に付ける。	課題 出席状況、提出物 <b>中間考査</b>	D AC BCD
		確率	・具体例を通して試行と事象の意味を理解し、その確率を求める。期待値を理解し、身の回りの場面で活用する。	課題学習 出席状況、提出物 <b>期末考査</b>	B AC BCD
二学期	図形の性質	平面図形	・三角形の辺や角、線分、内接円や外接円、二等分線の性質を理解する。弧や弦など円の基本的な性質を学習し、円周角や円に内接する四角形、円と直線の関係、接弦定理、2つの円の位置関係などについて理解する。	課題 出席状況、提出物 <b>中間考査</b>	D AC BCD
		空間図形	・空間における位置関係や多面体について理解する。	課題学習 出席状況、提出物 <b>期末考査</b>	B AC BCD
三学期	整数の性質	約数と倍数 ユークリッドの互除法	・約数と倍数、素因数分解や互いに素であることなどがわかり、最小公倍数や最大公約数、商と余りについて理解する。1次不定方程式の解法を理解する。	課題 出席状況、提出物 <b>学年末考査</b>	D AC BCD

**学習評価**（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [70] 点：平常点 [30] 点

	関心・意欲・態度 (A) 10 点	数学的な見方や考え方 (B) 30 点	数学的な技能 (C) 30 点	知識・理解 (D) 30 点
評価の観点	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質の考え方に関心をもつとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・出席状況等 ・授業中の姿勢・態度	・課題学習の取組 ・定期考査	・ノート・ワークなどの提出物 ・定期考査	・課題 ・定期考査

**留意点**（担当者からのメッセージ）

- ◇授業においては学ぶ姿勢が大切です。目標をもって学習に取り組んでください。
- ◇知識や理解の定着に近道はありません。繰り返し復習をし、その過程で理解を深めてください。

【数学科】 <b>数学Ⅱ</b>	教科書	改訂版 最新 数学Ⅱ (数研出版)			
	副教材	改訂版 書き込み式シリーズ【標準】教科書傍用 Study-Up ノート数学Ⅱ (数研出版)			
履修学年	第2学年 (進路、木、美)	履修形態	必修 選択	履修単位	2単位

**学習(到達)目標** (授業を通して、身に付ける力)

- ◇いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分について、数学Ⅰより発展した内容について知識を深め、その技能を習得する。
- ◇知識・技能を活用する能力を身に付けるとともに、数学の良さがわかる。

**学習方法** (授業の進め方や工夫点など)

- ◇教科書・授業プリント・Study-Up ノートを計画的に利用することにより、予習・復習を網羅していきます。ただし、数学的な知識や技能の定着のためには、繰り返し行うことが更に必要です。

**学習計画** (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	式と証明・高次方程式	複素数と方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>複素数の性質、解法を理解する。</li> <li>因数定理を使うことで高次の方程式を簡潔に因数分解する方法を理解する。</li> </ul>	課題 出席状況 提出物、 <b>中間考査</b>	D A BCD
		式と証明	<ul style="list-style-type: none"> <li>等式や不等式の意味を正確に理解し、演算だけでなく証明する方法を理解する。</li> </ul>	課題学習 出席状況、課題 提出物、 <b>期末考査</b>	B A BCD
二学期	図形と方程式  いろいろな関数①	点と直線  円の方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>2点間の距離や内分外分、直線の方程式の学習を深め、2直線の交点や位置関係を理解する。</li> <li>円の方程式と円の半径や中心の関係を理解する。</li> </ul>	課題 出席状況 提出物、 <b>中間考査</b>	D A BCD
		円と直線  円の接線の方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>円と直線の共有点について幾何学的な意味とその導出方法について理解する。</li> <li>円の接線について幾何学的な意味とその導出方法について理解する。</li> </ul>	課題学習 出席状況 提出物、 <b>期末考査</b>	B A BCD
		領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>領域を不等式で表せることを理解する。</li> </ul>		
三学期	いろいろな関数②	指数関数・対数関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>有理数に拡張した指数法則について理解する。また、対数の考え方やグラフ、常用対数について理解する。</li> </ul>	課題 課題学習 出席状況 提出物、 <b>学年末考査</b>	D B A BCD

**学習評価** (成績評価は、次の4つの観点から行います) 考查点 [70] 点 : 平常点 [30] 点

	関心・意欲・態度 (A) 10点	数学的な見方や考え方 (B) 30点	数学的な技能 (C) 30点	知識・理解 (D) 30点
評価の観点	様々な式、図形と方程式、三角関数の考え方に興味をもつとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	事象を数学的に考察し、表現している。また思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通し、数学的な見方や考え方を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、三角関数において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、三角関数における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況等</li> <li>授業中の態度・姿勢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題学習の取組</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート、ワークなどの提出物</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題</li> <li>定期考査</li> </ul>

**留意点** (担当者からのメッセージ)

- ◇授業においては学ぶ姿勢が大切です。目標をもって学習に取り組んでください。
- ◇知識や理解の定着に近道はありません。繰り返し復習をし、その過程で理解を深めてください。

【外国語科】		教科書	Vivid English Expression II New Edition (第一学習社)		
英語表現 II		副教材	使用しません(授業プリントなどを適宜使用)		
履修学年	第2学年(進路)	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

**学習(到達)目標** (授業を通して、身に付ける力)

- ◇英語独特な構文を理解し、表現できるようになる。
- ◇情報や考えなどを英語で伝える能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図る。

**学習方法** (授業の進め方や工夫点など)

- ◇授業中の指示もできるだけ英語で行います。何度も出てくる同じ表現を自然に身に付けることができます。学んだことを積極的に使ってみてください。
- ◇教科書以外にも授業プリントなどを適宜利用することにより、予習・復習がスムーズにできるように進めます。課題の提出は必須です。

**学習計画** (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	Lesson 1, 2	Enjoying My School Life I've Lived Here All My Life	・各種時制を学び、それらを用いて英語で表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 <b>中間考査</b>	A B AC C
	Lesson 3, 4, 5	I Want to Hear Your Performance I Like Shopping I Want to Study Robotics	・さまざまな受動態や助動詞、to不定詞の用法を学び、それらを用いて英語で表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 <b>期末考査</b>	A B AC C
二学期	Lesson 6, 7, 8	Great People I Respect Studying Is Fun! What Language Do They Speak There?	・現在進行形やto不定詞の用法の基本事項を復習し、それぞれの発展的な用法を学ぶ。また、それらを用いて英語で表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 <b>中間考査</b>	A B AC C
	Lesson 9, 10, 11	Do You Like Your Job? Memories of My Best Trip Reading English Newspapers	・動名詞の基本的事項を復習し、それぞれの発展的な用法を学ぶ。また、それらを用いて英語で表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 <b>期末考査</b>	A B AC C
三学期	Lesson 12, 13, 14	What Has Made You So Excited? <i>Run, Melos!</i> How Was Your Vacation?	・分詞や使役動詞の用法を学び、それらを用いて英語で表現する。	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 <b>学年末考査</b>	A B AC C

**学習評価** (成績評価は、次の3つの観点から行います) 考査点 [60] 点 : 平常点 [40] 点

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (A) 20点	外国語表現の能力 (B) 10点	言語や文化についての知識・理解 (C) 70点
評価の観点	積極的に授業に取り組み、失敗を恐れずに、身の回りのことや自分のことについて英語で伝えようとする。 授業中に与えられた課題や小テストに前向きに取り組もうとしている。	日常における、自分に関することについて、英語で書いたり、話したりできる。 ALTとのチームティーチングにおいて、自分の考えなどを英語で書き、話している。	言語や文法の知識を理解できている。 英語を理解するのに必要な語彙を身に付けている。
評価方法	・出席点 ・授業に対する参加姿勢、積極性 ・小テスト	・パフォーマンステスト	・提出課題 ・定期考査

**留意点** (担当者からのメッセージ)

- ◇毎日の予習を必ず行ってください。英語は復習よりも予習が重要です。
- ◇外国語はパターン学習が効果的です。すぐに様々な表現ができるようになります。

【地理歴史科】  <b>日本史B</b>	教科書	高校日本史 改訂版（山川出版社）			
	副教材	歴史資料館 日本史のライブラリー（東京法令出版）			
履修学年	第2学年（進路）	履修形態	必修・ <b>選択</b>	履修単位	4単位

**学習（到達）目標**（授業を通して、身に付ける力）

- ◇古代から現代にいたるまでの日本の歴史を学ぶ。
- ◇歴史的な視野、思考力、判断する理解力を身に付ける。

**学習方法**（授業の進め方や工夫点など）

- ◇整理プリントを使い、要点を理解しやすくし、復習にも活用させていく。
- ◇定期的に一問一答問題に取り組み、重要事項の定着を図る。

**学習計画**（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	原始・古代	日本文化のあけぼの	・大陸文化の積極的な導入について理解する。	質疑応答等 提出物	AB AC
		律令国家の成立	・天皇を頂点とする古代国家の成立を理解する。	出席 <b>中間考査</b>	A BD
	中世	貴族文化と国風文化	・大陸との交流が途切れた結果、国内においてどのような変化が生じたか、及び貴族文化の発達について考察する。	質疑応答等 提出物 出席 <b>期末考査</b>	AB AC A BD
二学期	中世	中世社会の成立	・武士による封建社会の成立について理解する。	質疑応答等 提出物	AB AC
		武家社会の成長	・武士政権が歴史に与えた影響について考察する。	出席 <b>中間考査</b>	A BD
	近世	幕藩体制の成立	・南蛮文化の伝来による武士の生活の変化や文化について考察し、江戸幕府が成立する過程を理解する。	質疑応答等 提出物 出席 <b>期末考査</b>	AB AC A BD
三学期	近世	幕藩体制の展開	・幕藩体制の下で産業や交通の発達が金融制度の確立などとの関連で発展したことを考察する。	質疑応答等 提出物 出席 <b>学年末考査</b>	AB AC A BD

**学習評価**（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [70] 点：平常点 [30] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 15点	思考・判断・表現 (B) 15点	資料活用の技能 (C) 10点	知識・理解 (D) 60点
		我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとしている。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
評価方法	・授業に対する積極性 ・課題の取組状況 ・ファイルの整理 ・小テスト	・授業中の質疑応答 ・定期考査における記述解答	・授業中の質疑応答 ・資料活用の積極性 ・授業プリントの記入内容	・定期考査

**留意点**（担当者からのメッセージ）

- ◇過去を知ることで、現在の出来事に対する思考を深めよう。
- ◇教科書を熟読し、自らのイメージを膨らませることが大事です。

【理科】 <b>生物</b>	教科書	スタンダード生物（東京書籍）			
	副教材	ニューステージ新生物図表（浜島書店） ニューサポート スタンダード生物（東京書籍）			
履修学年	第2学年（進路）	履修形態	必修 <b>選択</b>	履修単位	4単位

**学習（到達）目標**（授業を通して、身に付ける力）

- ◇目的意識をもって観察、実験などを行い生物学的に探究する能力と態度を育む。
- ◇観察・実験を通して探究する能力と態度及び科学的な自然観を身に付ける。

**学習方法**（授業の進め方や工夫点など）

- ◇「生物基礎」との関連を図りながら、自然界の季節変化と動物の活動や植物の生長を関連付けながら、教科書、図表、視聴覚教材を活用して年間の授業を計画的に進める。
- ◇観察・実験・植物栽培などを通して、自然を科学的に考察する能力を育てる。

**学習計画**（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	1 生命現象と物質 4 生物の環境応答	・生命現象とタンパク質 ・代謝とエネルギー	・生体内における酵素の働きについて確認する。 ・呼吸と光合成における物質変化、エネルギーの出入りについて学習する。	質疑応答 実験レポート <b>中間考査</b>	AD ABC ABD
		・動物の刺激の受容と反応 ・動物の行動 ・植物の環境応答	・刺激に対する神経系を介した反応の仕組みと個体の行動について学習する。 ・植物ホルモンの働きで環境変化に反応する仕組みを学習する。	レポート提出 ノート提出 <b>期末考査</b>	AB AB ABD
二学期	2 遺伝子のはたらき 3 生殖と発生 5 生態と環境	・動物の生殖と発生	・動物の受精、初期発生の過程及び形態形成のしくみを学習する。	課題提出 実験レポート <b>中間考査</b>	AD ABC ABD
		・植物の発生	・被子植物の発生、器官分化について学習する。	レポート提出 ノート提出 <b>期末考査</b>	AB AB ABD
		・遺伝情報の発現 ・遺伝子の発現調節 ・個体群と生物群集	・遺伝子の本体と、遺伝情報を発現する仕組み等について学習する。 ・個体群と生物群集の成り立ちについて学習する。		
三学期	5 生態と環境 6 生物の進化と系統	・生態系とエネルギー ・生態系と生物多様性 ・進化と生物の系統	・生態と環境に関する学習を通して、生物多様性が重要であることを認識する。 ・生命の起源や生物が進化してきた道筋を、進化の仕組みと合わせて理解する。	レポート提出 ノート提出 <b>学年末考査</b>	AB AB ABD

**学習評価**（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [60] 点：平常点 [40] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 35点	思考・判断・表現 (B) 15点	観察・実験の技能 (C) 10点	知識・理解 (D) 40点
評価の観点	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・授業に対する積極性 ・課題の取組状況 ・授業プリントの記入内容 ・ファイルの整理	・授業中の質疑応答 ・実験観察レポートの考察、感想等 ・考査における記述解答	・実験・観察の操作手順 ・実験観察レポートの操作要領等の記入状況 ・実験における工夫点	・理論的な口述返答 ・定期考査 ・課題ワークの解答

**留意点**（担当者からのメッセージ）

- ◇教科書以外に、ノートと資料集を必ず持参すること。（資料集は1年で購入した物を継続使用）
- ◇2年次に生物を履修すると、3年次は化学を履修することになります。

【数学科】 <b>実用数学</b>	教材	高校基礎力 100%計算力トレーニング (増進堂) 基本ワーク数学 (増進堂)			
	副教材	使用しません			
履修学年	第2学年(地域)	履修形態	<b>必修</b> 選択	履修単位	2単位

**学習(到達)目標** (授業を通して、身に付ける力)

- ◇数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。また数学的活動の素地を定着させる。
- ◇数学について、具体例をもとに「身の回りの数学」、「社会生活と数学」の2つの観点から様々な事を学ぶ。

**学習方法** (授業の進め方や工夫点など)

- ◇就職試験等を見据え、「数学における基礎的・基本的な知識及び技能の定着」をこの授業では目指します。そのため、義務教育課程での数学ならびに高等学校1年次に学習した数学を扱います。また日常生活に潜む数学にも触れ、「数学を楽しみ、役立てることの面白さ」も伝えたいと思います。

**学習計画** (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	数と式	<ul style="list-style-type: none"> <li>式の展開</li> <li>累乗の計算</li> <li>因数分解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数や式についての用語の意味を理解し、展開や因数分解を含む、基本的な計算力を身に付ける。</li> </ul>	課題 出席状況 小テスト、提出物 <b>中間考査</b>	D A AC BCD
		<ul style="list-style-type: none"> <li>根号を含む計算</li> <li>さまざまな方程式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平方根を含んだ計算の解法を理解する。</li> <li>1次、2次方程式の解法を理解する。</li> </ul>	課題学習 出席状況 小テスト、提出物 <b>期末考査</b>	B A AC BCD
二学期	図形の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形と角</li> <li>合同な図形</li> <li>相似な図形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな平面図形について、合同な図形や相似な図形を見つける力を身に付ける。</li> <li>合同や相似の性質を理解する。</li> </ul>	課題 出席状況 小テスト、提出物 <b>中間考査</b>	D A AC BCD
		<ul style="list-style-type: none"> <li>立体の表面積と体積</li> <li>三角比</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立体の表面積と体積について、違いや意味を理解する。</li> <li>三角比の意味を理解し、三角比を用いて、図形に応用する力を身に付ける。</li> </ul>	課題学習 出席状況 小テスト、提出物 <b>期末考査</b>	B A AC BCD
三学期	場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>場合の数</li> <li>確率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体例を通して、試行と事象の意味を理解し、場合の数の解法を理解する。</li> <li>具体例を通して試行と事象の意味を理解し、確率の解法を理解する。</li> </ul>	課題 課題学習 出席状況 小テスト、提出物 <b>学年末考査</b>	D B A AC BCD

**学習評価** (成績評価は、次の4つの観点から行います) 考査点[70]点:平常点[30]点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 15点	数学的な見方や考え方 (B) 20点	数学的な技能 (C) 35点	知識・理解 (D) 30点
評価の観点	数と式、図形の性質、または場合の数と確率の考え方に関心をもつとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、図形の性質、または場合の数と確率において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式、図形の性質、または場合の数と確率における基本的な概念・原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況等</li> <li>授業中の小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題学習</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイル等の提出物</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題</li> <li>定期考査</li> </ul>

**留意点** (担当者からのメッセージ)

- ◇授業においては学ぶ姿勢が大切です。目標をもって学習に取り組んでください。

【商業科】		教科書	ビジネス基礎 新訂版（実教出版）		
ビジネス基礎		副教材	使用しません（随時プリントを配付）		
履修学年	第2学年(地域)	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

### 学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇生産・流通・消費という経済の仕組みの中における、ビジネスの諸活動の意義や役割など、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得する。
- ◇豊かな人間性をはぐくみ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けるとともに、円滑なコミュニケーションを図り、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を習得する。

### 学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇講義形式の一斉授業を基本とする。また、単元の特徴に応じた授業展開をするために実習を取り入れることがある。1分間スピーチを授業の始めに行う。

### 学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	商業の学習ガイダンス 経済と流通の基礎	商業を学ぶ目的と学び方 経済のしくみとビジネス 社会の変化とビジネスの発展 経済活動と流通	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから学ぶ商業の意義や役割を学習する。</li> <li>経済のしくみとビジネスの役割や活動を学習する。</li> <li>流通の意義や役割を身近な事例から理解する。</li> </ul>	授業の取組 ノート提出 プリント、課題 など <b>期末考査</b>	A A ABC BCD
	ビジネスの担い手	ものの生産者 サービスの生産者 小売業者、卸売業者 物流業者、金融業者 情報通信業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者ニーズを満たす商品（サービス）を提供することが、生産者の基本的な役割であることを理解し、ビジネスの各担当者の役割や種類などを学習する。</li> </ul>		
二学期	企業活動の基礎	ビジネスと企業 資金調達 企業活動と税 雇用、企業倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業形態の種類・特徴や経営組織について学習する。</li> <li>税の意味や、雇用の意義、特徴、課題について理解を深める。</li> </ul>	授業の取組 ノート提出 プリント、課題 など <b>期末考査</b>	A A ABC BCD
	ビジネスと売買取引 売買に関する計算	売買取引の手順 代金決算 売買に関する計算の基礎 売買に関する計算の応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>売買取引に関する基礎的な知識を修得する。</li> <li>利益率の計算、売買に必要な度量衡、外国通貨の計算や換算について演習を通して理解を深める。</li> </ul>		
三学期	ビジネスとコミュニケーション	コミュニケーション ビジネスマナー 情報の入手と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスにおける心構えや立ち振る舞いなど、ビジネスマナーの知識を修得し、理解を深める。</li> </ul>	授業の取組 ノート提出 プリント、課題 など <b>学年末考査</b>	A A ABC BCD

### 学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [60] 点：平常点 [40] 点

	関心・意欲・態度 (A) 30点	思考・判断・表現 (B) 20点	技能 (C) 20点	知識・理解 (D) 30点
評価の観点	ビジネスについて関心を持ち、ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して主体的に取り組もうとするとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや実践的な態度を身に付けようとしている。	ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術と望ましい心構えを身に付け、ビジネスの諸活動を適切に処理するとともに、その成果を的確に表現している。	ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会の一員としての望ましい心構えについて理解している。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への参加態度</li> <li>課題、プリントなどの提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査内の応用問題</li> <li>プリントの記入内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査内の応用問題</li> <li>プリントの記入内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> </ul>

### 留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇「ビジネス基礎」はすべての社会生活の基礎となる科目です。就職する際に必要な知識・技能を身に付けることができます。

【商業科】		教科書	新簿記 新訂版（実教出版）		
<b>簿記</b>		副教材	完全段階式 標準検定簿記問題集 全商3級（東京法令出版）		
履修学年	第2学年(地域)	履修形態	必修・選択	履修単位	4単位

**学習（到達）目標**（授業を通して、身に付ける力）

- ◇企業において日常発生する取引を仕訳し、勘定記入を経て、決算に至る簿記の基本的な仕組みについて理解する。
- ◇帳簿や財務諸表を通して、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を養う。

**学習方法**（授業の進め方や工夫点など）

- ◇各単元のテーマを解説し、練習問題を解きながら進めます。
- ◇学習到達度を測るため、単元ごとに確認テストを行います。

**学習計画**（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	簿記の基礎	貸借対照表と損益計算書 取引と勘定	・資産・負債・資本・収益・費用を学び、貸借対照表や損益計算書を作成する。	授業の取組 問題集の提出 <b>中間考査</b>	AB AB CD
	決算（その1）	仕訳と転記 試算表・精算表(6桁)	・仕訳と転記を学び仕訳帳や総勘定元帳へ転記する。	授業の取組 問題集の提出	AB AB
	取引の記帳	決算 現金・預金などの取引	・決算の意味を学び、決算手続きの方法を理解する。	<b>期末考査</b>	CD
二学期	取引の記帳	商品売買の取引 掛け取引	・仕訳と転記、補助簿へ記帳する。	授業の取組 問題集の提出 <b>中間考査</b>	AB AB CD
	取引の仕訳と転記	手形の取引 有価証券の取引 その他の債権・債務の取引 固定資産の取引 個人企業の資本と税金 営業費の取引	・有価証券やその他の債権・債務、固定資産、個人企業の資本と税金、営業費の取引を学び仕訳と転記をする。	授業の取組 問題集の提出 <b>期末考査</b>	AB AB CD
三学期	決算（その2）	決算整理 精算表(8桁) 貸借対照表・損益計算書	・決算整理について取り扱い、決算に関する基礎的な知識と技術を習得する。 ・財務諸表について取り扱い、決算に関する基礎的な知識と技術を習得する。	授業の取組 問題集の提出 <b>学年末考査</b>	AB AB CD

**学習評価**（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [60] 点：平常点 [40] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 20点	思考・判断・表現 (B) 20点	技能 (C) 30点	知識・理解 (D) 30点
	評価の方法	企業における取引の記録・計算・整理について関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する実践的な態度を身に付けようとしている。	企業における取引の記録・計算・整理に関する諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	企業における取引の記録・計算・整理に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、適切に処理するとともに、その成果を適切に表現している。
評価の方法	・学習活動への参加態度 ・問題集、プリントの提出	・授業中の質疑応答 ・問題集、プリントの記帳内容	・定期考査	・定期考査（検定試験含む）

**留意点**（担当者からのメッセージ）

- ◇簿記の学習は、問題を自ら解き、理解できているか否かを確認しながら、一歩ずつ前進する姿勢が大切です。全商簿記実務検定試験を受験します。

【地域】 <b>ボランティア</b>	教材	使用しません			
	副教材	ボランティア手帳			
履修学年	第2学年	履修形態	任意	履修単位	増加1単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇ 体験的・実践的な活動の中で、社会の一員であることを自覚し、互いが支え合う社会の仕組みを理解する。
- ◇ 地域貢献等を通し社会奉仕の精神を涵養し、自らのあり方、生き方を求め自己実現をはかる一助とする。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇ 単位認定対象活動  
ボランティア活動同意書・活動願が出され校長が認めた活動
  - a) ボランティアクラブ・生徒会で行う活動
  - b) 学校に依頼があり、学校長の認めた事業
  - c) 個人・他団体で行うボランティアで校長が単位の認定を認めたもの

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	学習項目	主な学習活動
一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアクラブ</li> <li>・生徒会活動</li> <li>・学校に依頼があり、校長が認めた事業</li> <li>・個人、他団体で行うボランティア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のボランティア</li> <li>・十津川村主催行事</li> <li>・災害ボランティア</li> <li>・ボランティアに関する研修 （長期休業期間の活動も含む）</li> </ul>
二学期		
三学期		

学習評価（成績評価は、行いません。）

評価方法	<p>①ボランティア同意書・活動願をボランティアクラブ顧問に提出</p> <p>②活動後、現地担当者からボランティア手帳に証明印またはサイン受領 （生徒会、ボランティアクラブの活動の場合は、担当教員が証明）</p> <p>③ボランティア手帳をボランティアクラブ顧問に提出 →認定台帳に認定単位時間（活動時間）を記入 →手帳は生徒に返却、認定台帳は教務部保管</p> <p>④年度末までに35単位時間（1750分）を満たせば、成績会議において教科「地域」、科目「ボランティア」として1単位を認定。</p>
------	---

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇教員が引率しない活動については、自己の責任で行う。
- ◇ボランティアに参加するには必ずボランティア手帳を携帯する。
- ◇服装等、準備物は個人で準備する。